

交通安全市民会議 ニュース4月号



令和4年11月1日改正

「自転車安全利用五則」



自転車も車両の仲間です。ルールを守って安全運転をしましょう！

(内閣府HPより)

1 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先

自転車は、歩道と車道の区別がある道路では、車道の左側を通行することが原則です。



《例外的に歩道を通行できる場合》

- 運転者が高齢者、児童・幼児等であるとき
- 「普通自転車歩道通行可」の標識等があるとき
- 通行の安全確保のためにやむを得ないとき

罰則 3か月以下の懲役または5万円以下の罰金

2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認

自転車は、対面する車両用信号に従うのが原則です。「歩行者・自転車専用」と表示されている信号機がある場合や横断歩道を通行する場合は、歩行者用信号機に従わなければなりません。



罰則 3か月以下の懲役または5万円以下の罰金等

3 夜間はライトを点灯

前方の安全確認だけでなく、歩行者や車に自転車の存在を知らせるためにも、夜間は必ずライトを点灯しましょう。



罰則 5万円以下の罰金

4 飲酒運転は禁止

自転車も飲酒運転は禁止です。お酒を飲んだら絶対に運転してはいけません。



罰則 5年以下の懲役または100万円以下の罰金

5 ヘルメットを着用

自転車を利用するすべての人は、自転車事故による被害を軽減するために、乗車用ヘルメットを着用しましょう。幼児・児童を自転車に乗せるときには、体に合ったサイズの乗車用ヘルメットを正しく着用させるようにしましょう。

豊田市では令和2年4月から
愛知県では令和3年10月から
条例により、ヘルメット着用は努力義務
道路交通法でも、
令和5年4月1日から努力義務化！

「自転車乗車用ヘルメット購入費補助金」 のご案内

豊田市では、自転車用ヘルメットを購入した方に補助金を交付しています。詳しくは市のホームページをご覧ください！



《豊田市HP》
トップページ > 暮らしの情報 > 交通・道路 > 交通安全 > 令和5年度自転車乗車用ヘルメット購入費補助金

こちらからアクセス！⇒



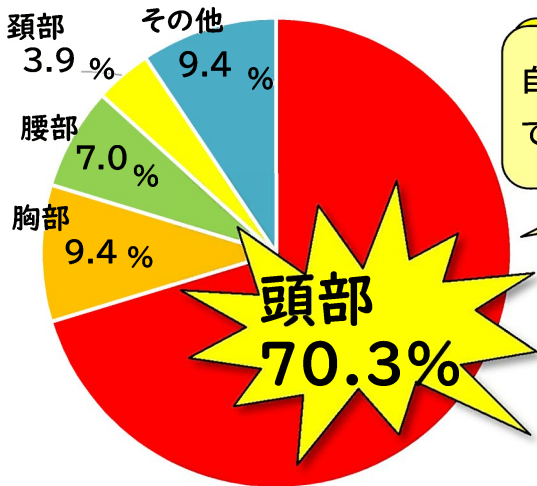


令和5年
4月1日
から

自転車を利用する際の「ヘルメット着用」が 道路交通法にて努力義務化!



愛知県内自転車死者の負傷主部位構成率
(平成30年~令和4年 愛知県警統計資料)



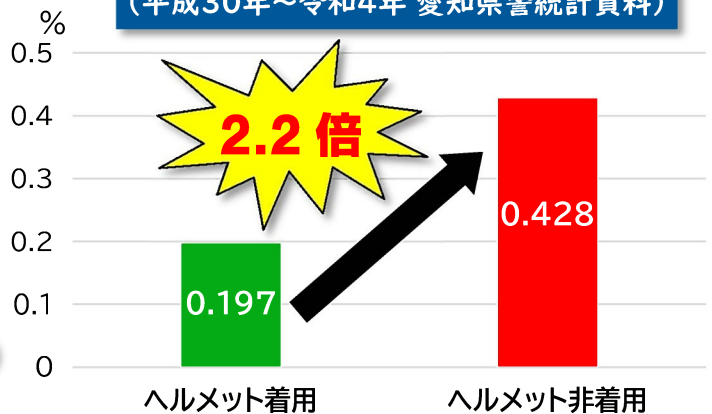
自転車交通死亡事故で最も多い致命傷は「頭部」で、全体の 7割以上 を占めています。



キケン

事故に遭った時のヘルメット非着用の致死率は、ヘルメット着用の 2.2倍 です。

自転車用ヘルメット着用状況別致死率
(平成30年~令和4年 愛知県警統計資料)



自転車に乗るすべての人は、必ずヘルメットを着用しましょう



ひまわりネットワーク「とよた NOW」
特集コーナーでも放映されました!

動画をチェック!



5月は、二輪車・自転車安全利用期間です!



新緑のまぶしいこの時期、サイクリングやツーリングを楽しむ方も多いのではないのでしょうか。二輪車や自転車は、春の風を直に感じられとても快適な乗り物ですが、事故が起こった際には、その衝撃を直接体に受けてしまいます。万が一の事故に備えてヘルメット・プロテクター等を必ず着用し、ルールを守って安全に利用しましょう!





交通安全市民会議ニュース6月号



シートベルト すべての道路で

全席着用

の徹底を!

後部
座席も



愛知県内シートベルト着用率*

※2022年に警察庁・JAFが県内の一般道路で調査

チャイルドシート
着用率(6歳未満)
90.9%

運転席
着用率
98.7%



後部座席同乗者
着用率 **49.8%**

半数以下

助手席同乗者
着用率 97.8%

もしも
事故が起こった時

後部座席で非着用の場合

衝突の勢いが激しいとき
「車外放出」の危険、
前方に投げ出されたとき
「前席者に致命傷」
となる危険

があります!



大切な人を守るため
出発前に全員締めたか
チェックしましょう



愛知県内「カチッと100!」シートベルト・チャイルドシート着用徹底強化旬間
6月11日(日)~6月20日(火)

梅雨の時期がやってくる! 雨の日の安全対策

雨天時は「視覚・聴力の低下」、「路面の悪化」に注意!

自転車に乗るとき



傘をさしながら
運転してはいけません



合羽を
利用しましょう

車に乗るとき



ワイパーゴムの
劣化もチェック!

スリップ事故を防ぐため、タイヤが摩耗していないか、空気圧は不足していないか事前に点検しておきましょう。

歩くとき



雨天時は視界が悪く、雨音で車や自転車が近づく気配が認識しづらくなります。
普段よりも周りをよく確認して歩きましょう。

夏の交通安全市民運動が始まります 期間 7/11(火)~20(木)

立哨の際は、熱中症対策等をしていただき、無理のない範囲でのご協力をお願いいたします。



夏だ！ビールだ！でも・・・ 飲酒運転は絶対にしない！させない！



ビールのおいしい季節となりました。感染症対策も徐々に緩和され、職場の仲間などと懇親を深める機会も増えてきたのではないのでしょうか。その一方で、現在も飲酒運転が原因の交通事故は後を絶ちません。楽しくお酒が飲めるよう、家族や身近な人々と声を掛け合いましょう！

飲酒が運転に及ぼす影響

(愛知県警 HP より)

感覚機能の低下

視覚機能の低下により信号を誤って見落とししたり、横断している歩行者などに気付かないなど、運転に支障をきたす。



運動機能の低下

ブレーキをかけようと思ってからの反応時間が遅くなり、人や車などに衝突する恐れがある。



判断力・注意力の低下

スピード感覚が鈍くなり飲酒していない時よりもスピードを出しすぎる恐れがある。

危ないなあ



飲酒後の仮眠では身体からアルコールは抜けません！

(愛知県警 HP より)

飲酒後に仮眠をした人と仮眠をしなかった人の呼気中のアルコール濃度を調べたところ、仮眠をした人の濃度は仮眠しなかった人の約2倍でした。更に、アルコール分解後、少なくとも3時間は運動機能が低下するため、正確な運転はできないとの結果も出ています。(国立病院機構久里浜医療センター研究結果)

飲酒後は、公共交通機関やタクシー、または運転代行業者を利用しましょう！

飲酒後に運転することを前提とした仮眠は危険です！



「シグナルちゃん着ぐるみ」の
貸し出しを再開します！

交通安全啓発イベントなどに、ぜひご活用ください。



啓発グッズの貸出し
についてはコチラ



〈交通安全市民会議 HP〉



とまってくれて
ありがとう



【発行】 豊田市交通安全市民会議事務局
(豊田市役所交通安全防犯課内) TEL0565-34-6633



交通安全市民会議ニュース 8月号

引き続きこちらの運動を展開中！

みんなで実践交通事故防止！

とまってくれてありがとう運動

感謝



ハンド・アップ
&
アイコンタクト

ありがとう！



歩行者優先
&
アイコンタクト

とまる！



優先・保護

「とまってくれてありがとう運動」とは

横断歩道での歩行者優先の徹底を目的に、「歩行者側からアプローチ」する運動です。

《アプローチの手順》

- ① “ハンドアップ”や“アイコンタクト”によりドライバーと意思疎通を図って、車両が確実に停止したことを確認する。
- ② 停止してくれたドライバーに対して、さらに“会釈”などで感謝の気持ちを示す。
- ③ ドライバーは清々しい気持ちになり、次回も止まろうという思いになる。

動画を見て実践しよう！ → 【ラリー編 (ラリージャパンとコラボ)】 【シグナルちゃん編】



～ 8月19日は「バイクの日」

二輪車を安全に利用しましょう！～



スピードの出しすぎに注意！

信号交差点が少ない山道などを走行する時は、つい速度を出してしまいがちですが、スピード違反は事故の原因となり得ます。速度遵守を徹底しましょう。



カーブを曲がる時に注意！

二輪車は、自分の身体を使って運転する技術が必要です。カーブを曲がることもその一つですが、うまく曲がり切れずに転倒したり反対車線に飛び出すなどして、重大な事故となる可能性があります。カーブに差し掛かった時は、その手前から十分に減速して走行しましょう。



ヘルメットとプロテクターを着用しましょう！

頭部以外に胸部や腹部の損傷が多いことも二輪車の事故の特徴です。ヘルメットを正しくかぶり、プロテクターやエアバッグジャケットを着用しましょう。



交通安全市民会議ニュース 9月号



9月以降は魔の時間(夕方5-7時)に注意! ～ 早めのライト点灯 & 反射材着用 で事故防止 ～

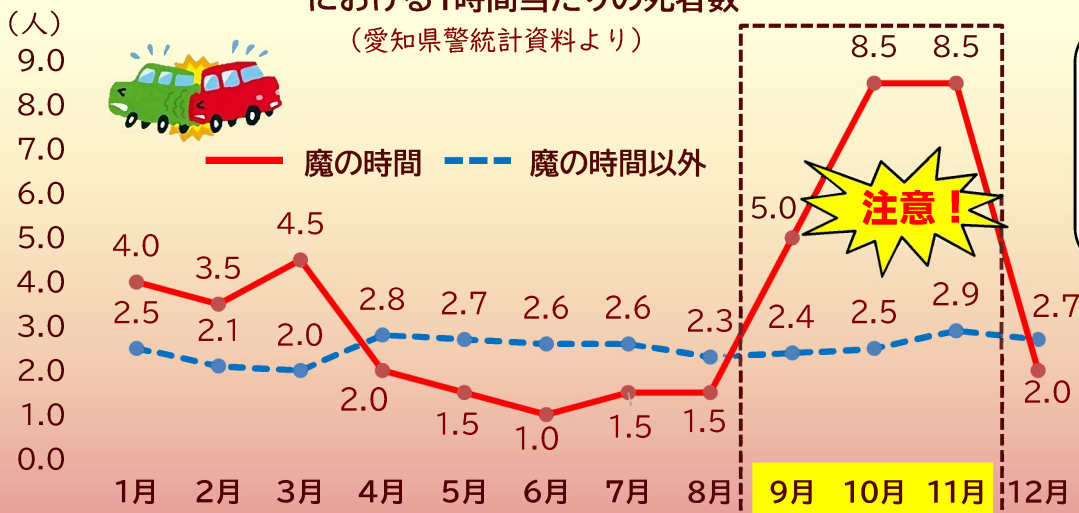
日没時間が日に日に早まる9月。この時期から冬にかけて、夕方5時から7時は以下のような理由から、交通事故が起こりやすくなります(魔の時間)。

- ・ 視界が徐々に悪くなり、ドライバーと歩行者との距離がわかりにくくなる。
- ・ 自動車のスピードがわかりにくくなる。
- ・ 日中の業務ドライバーは疲れが出やすくなる。
- ・ 下校や終業などの帰宅時間が重なり交通量が増える。

夕陽の眩しさで、信号や歩行者を見落とす可能性もあります。



県内過去5年(H30-R4) 月別・魔の時間(17時台、18時台)における1時間当たりの死者数
(愛知県警統計資料より)



「魔の時間」2時間における愛知県内の過去5年間の死亡事故は、**9-11月に多発**しています。



みんなで **事故防止**



ポイント

ハイビームで早期発見

ポイント

ライトは早めに点灯!

ライト点灯時刻の目安

9月	17:00
10月	16:30
11月	16:00
12月	16:00

ポイント

反射材でアピール



秋の交通安全市民運動が始まります!

運動期間 9/21(木) ~ 9/30(土)

交通事故ゼロの街を目指しましょう!



みてね! 啓発動画
「シグナルちゃん編」

【発行】豊田市交通安全市民会議事務局 Tel.0565-34-6633
(豊田市役所交通安全防犯課内)



交通安全市民会議 ニュース



自動車の“ハイビーム”を活用しましょう！

みなさんは運転する時、どのような場合に前照灯を上向き(ハイビーム)にしていますか？普段はハイビームを使用することはほとんどない、という方が多いかもしれません。道路交通法でも、ハイビームは他のドライバーを眩くさせるため、対向車と行き違うときや前走車がいるとき、また、交通量の多い市街地の道路などを通行するときには下向き(ロービーム)に切り替えるか減光させなくてはならない、とされています。(法第52条第2項)

しかし、街灯や車の少ない道を通るとき、ハイビームにすると歩行者などを、遠くから早期に発見することができ、交通事故を回避できる可能性が高くなります。



《ハイビームとロービームの見え方の比較》 (警察庁 HP より)

パイロンまでの距離 100m パイロンまでの距離 60m

ハイビーム

確認できる距離
100m



ロービーム

確認できる距離
40m



ハイビームはロービームの
2倍以上遠くから
歩行者を早期に発見できます



ハイビームの正式名称をご存じですか？

法令によると、ロービームの正式名称は「すれ違い用前照灯」といい、「対向車や前走車が存在する場合に使用すること」と記されています。一方でハイビームは「走行用前照灯」といい、ロービームのような限定された使用規定はなく、その名のとおりに、通常の走行時に使用するライトとされています。

市街地では対向車や前走者が絶え間ないため、ロービームで走行するのが常となっている方も多いと思いますが、暗い郊外や主要道路から逸れた街灯の少ない道などでは、歩行者などを早期発見するため、積極的にライトの切り替えを行って事故防止に努めましょう！



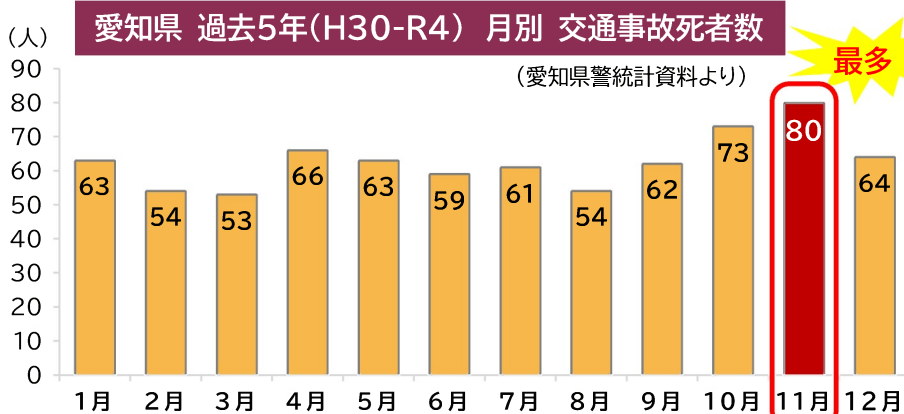
《啓発動画》
とまってくれてありがとう
「ラリー編(ラリージャパンとコラボ)」

【発行】 豊田市交通安全市民会議事務局
(豊田市役所交通安全防犯課内)
Tel.0565-34-6633



11月は「交通事故死者数」が年間最多！

愛知県警の過去5年間(H30年～R4年)の交通死亡事故等分析によりますと、11月は「交通事故死者最多月」です。だんだんと日が短くなり、薄暮時間帯(夕方5～7時)には事故が起こりやすい条件が重なります。引き続き「魔の5～7(ゴーナナ)」には特に気をつけましょう。



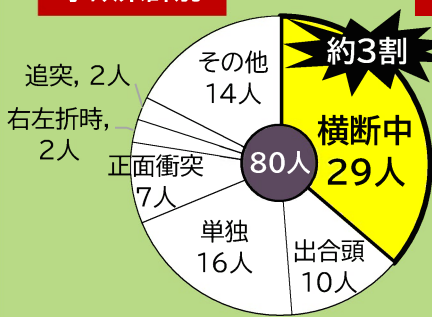
11月の死者80人のうち、約半数が歩行者で、事故累計別にみると、横断中の事故が3割以上です。

また、この時期は日没時刻が日に日に早まるうえ、年末にかけて多忙となるため、例年、業務中や通勤途中の事故が増加する傾向にあります。

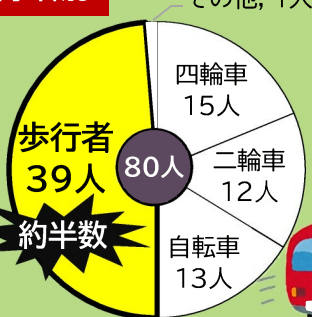
交通事故を他人事と考えず、家庭や職場などでもよく注意するようお互いに声を掛け合しましょう。

最多！

事故累計別



当事者別



11月死者80人の詳細内訳



みんなで楽しく遊んで考えよう！

交通安全ひろば

2023.10.27(金) ▶ 12.24(日)

T-FACE A館6階

入場無料

ばしょ ▶ 豊田市駅前 T-FACE A館 6階

じかん ▶ 午前10時から午後6時まで

きかん ▶ 12月24日(日)まで開催

入場無料 ▶ くわしくはコチラ ▶



子どもおとなも気軽に楽しめる体験型コンテンツやゲームが充実！

日ごろの交通安全について楽しく学び、考えるための「交通安全ひろば」が開催されています。

ぜひお越しください！

ひろばで学んでガチャガチャ用コインをゲット！交通安全グッズが当たるよ！

事故の危険をVRで体験しよう！& 子ども免許証が作れるよ！



シグナルちゃんも登場するかも！



「啓発動画」
とまってくれてありがとう
「ラリー編(ラリージャパンとコラボ)」

【発行】 豊田市交通安全市民会議事務局
(豊田市役所交通安全防犯課内)
Tel.0565-34-6633



令和5年 12月発行

12月号

交通安全市民会議 ニュース



豊田市内『交通死亡事故多発非常事態宣言』発令中

豊田市内で11月16日(木)と22日(水)に、立て続けに2人の尊い命が交通事故の犠牲となりました。これを受けて豊田市長は、『交通死亡事故多発非常事態宣言』を発令しました。【発令期間11月24日(金)～12月31日(日)】

年末は日没時刻が早くなり、夕暮れ時の交通事故が多発する時期です。ドライバーは早めのライトオン(12月は午後4時)、歩行者は反射材を利用するなど、安全行動を心掛けましょう。また、年末は業務多忙となり心身の疲れなどが運転に影響を及ぼすことも考えられますので、時間にゆとりをもって体調管理に努めましょう。

12月は **飲酒運転根絶強調月間** です。

飲酒運転をなくすため、これらの運動を推進しています。

飲酒運転
四(し)ない
運動



ハンドル
キーパー
運動

ロゴマーク!



- 運転するなら酒を **飲まない**
- 酒を飲んだら **運転しない**
- 運転する人に酒を **すすめない**
- 酒を飲んだ人に **運転させない**



自動車で飲食店などへ行く際、お酒を飲まない
「ハンドルキーパー」を決め、その人が仲間を家まで送り届ける運動。

運転代行サービスも利用しましょう。



《啓発動画》
とまってくれてありがとう
「シグナルちゃん編」

【発行】 豊田市交通安全市民会議事務局
(豊田市役所交通安全防犯課内)
Tel.0565-34-6633



交通安全市民会議 ニュース



令和5年 交通事故死者数 (令和5年1月～12月)

愛知県 145人 うち、高齢者70人
(昨年比 + 8人)

全国
ワースト2位



豊田市 9人 うち、高齢者4人
(昨年比 - 3人)

愛知県内
ワースト2位*

※名古屋市を除く

令和5年 愛知県内 交通事故死者数
(名古屋市34人を除く順位)

ワースト

1位	一宮市	10人
2位	岡崎市	9人
2位	豊田市	9人
4位	豊川市	8人
5位	豊橋市	6人



昨年の豊田市内の交通事故死者9名のうち、6名が歩行者(うち4名が高齢者)でした。

- ▶ ドライバーは、横断歩道の手前では、いつでも止まれるように減速しましょう。
- ▶ 歩行者は、夜間の外出時にはドライバーからよく見えるよう明るい服装や反射材を身につけましょう。

一人ひとりが交通ルールを守り、思いやりの心をもって、事故のない街を目指しましょう!



今年も継続して
実施していきます!

～ 歩行者からのアプローチ ～

とまってくれて **ありがとう** 運動

歩行者/

ハンド
アップ

ドライバーとアイコンタクト!
安全に横断しよう

ドライバー/

歩行者
優先



+ プラス

歩行者/

感謝

“おじぎ”などで
感謝の気持ちを伝えよう

ドライバー/

優先
保護

《啓発動画》

みてね!





交通安全市民会議 ニュース



災害時のドライバーの心構え ~もしも大地震が発生したら~

先月1日、石川県能登半島において、震度7を記録する「能登半島地震」が発生し、甚大な被害がもたらされ、多くの尊い命が失われました。私たちの住む東海地方も、いつ大地震が来てもおかしくない状況だと言われています。

もしも、運転中に地震が発生した場合、どうしたらよいのでしょうか？
災害時にドライバーが取るべき行動を知り、もしもの時に備えましょう。



運転中に大きな揺れを感じたら



ゆっくり
左側に寄せる

ハザードランプを点灯

- ▶ 急ハンドル、急ブレーキを避け、ゆっくりスピードを落として道路の左側に停車します。その際、ハザードランプを点灯させるなど周りの車両に注意を促しましょう。(揺れによる道路の形状の変化に注意)
- ▶ 橋の上やトンネル内部および交差点内にいる場合は、安全を確かめながら通過したのち、安全な場所で停車します。

安全に停止できたら



車内で
待つ

情報収集



- ▶ 停止後はエンジンを止め、揺れが収まるまで車内で待ちます。
- ▶ スマートフォンやラジオなどから「地震情報」や「交通情報」を確認しましょう。

車を置いて避難するときは



車のキー
は車内に

貴重品は
持って避難

- ▶ できるだけ道路外の、避難する人や応急対策の妨げにならない場所に移動させてください。
- ▶ やむを得ず道路上に置いて避難する時は、窓を閉めてドアをロックせず、車のキーは付けたままか、運転席など車内のわかりやすい場所におきます。貴重品は持って避難しましょう。

※緊急車両などの妨げになるため、できるだけ徒歩で避難しましょう。

高速道路では



非常口
から脱出



- ▶ あわてずゆっくり減速し、ハザードランプで前後の車に注意を促しながら、道路の左側に寄せて停車します。揺れが収まったら、緊急に非難する必要がある場合は、キーを付けたまま車を放置して、近くの「非常口」などから脱出します。
- ▶ 高架区間にいる場合は、倒壊していなくても車から離れ、「非常口・階段」「出入口」から避難しましょう。



交通安全市民会議 ニュース



もうすぐ春!

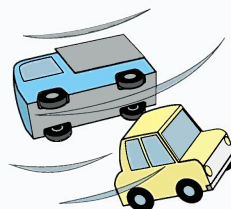
まるで台風「春の嵐」に気を付けて!



日に日に暖かくなり、レジャーなどで人の動きが活発になる季節ですね。一方で、例年3~5月にかけて、日本付近で急速に発達した低気圧によって「春の嵐」と呼ばれる強風が発生しやすくなります。台風並みの暴風により、海岸では高波となることもあるため、注意が必要です。

強風時の運転のしかた

- 運転時に風が強いときは、ハンドルをしっかり握り、速度を落として走行しましょう。
- 急に風にあおられ車体が流されても、急にハンドルを切ったり、急ブレーキをかけるのは大変危険です。落ち着いてハンドル操作をしましょう。
- 十分にスピードを落として走行しても、風に流され危険と判断した場合は、無理せず安全な場所で停止しましょう。



×急ハンドル
×急ブレーキ

風に影響されやすい車体



- 次のような車体の車は風のおおりに受けやすいため、特に注意しましょう。
 - ・「車高が高い」・「重量が軽い」
 - ・「側面の面積が広い」
 例)トラック、SUV、ミニバン

高速道路は特に風の影響を受けやすいよ!
お出かけ前に気象情報をチェックしてね!



自動車の運転以外でも

- 自動車のドアの開閉時に風にあおられ隣の車を傷つけたり、一気に締まるドアに指を挟まないよう十分に注意しましょう。
- 自転車に乗る際も、風のおおりに受けて横転する危険があります。走行が危険な時は、自転車から降り、手で押して歩きましょう。

